

# 県立広島大学後援会会則

(名称)

第1条 本会は、県立広島大学後援会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を広島市南区宇品東一丁目1番71号県立広島大学内に置き、従たる事務所を庄原市七塚町562番地及び三原市学園町1番地の1に置く。

(目的)

第3条 本会は、県立広島大学(広島県立大学、県立広島女子大学及び広島県立保健福祉大学を含む。(以下「本学」という。))における学生の有意義で充実した学生生活を側面から支援するとともに、本学の教育方針に協力し、教育研究活動等に必要な援助を行い、本学の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学生の課外活動の支援に関する事業
- (2) 学生の就職開拓に関する事業
- (3) 学生の福利厚生に関する事業
- (4) 教育研究活動等の充実にに関する事業
- (5) その他本会の目的を達成するために必要と認められる事業

(会員)

第5条 本会は次の者を会員として組織する。

- (1) 正会員 本学に在籍する学生(大学院生を除く。)の保護者又はこれに相当する者
- (2) 賛助会員 本会の趣旨に賛同する者

(顧問)

第6条 本会に顧問を置くことができる。

2 顧問は本会に対し特に功労のあった者又は本会の運営上特に助言を願う必要のある者について、理事会において推薦し、会長が委嘱する。

(役員等)

第7条 本会には、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事 16名以上23名以内
- (4) 監事 3名

3 役員は無報酬とする。

4 本会に、書記を若干名置くことができる。

(役員等の選出等)

第8条 理事及び監事は、総会において会員の中から選出する。

2 会長及び副会長は理事の中から互選する。

3 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

4 書記は、会長が学長の承認を経て本学職員に委嘱することができる。

(役員等の職務)

第9条 会長は、会務を総括し、本会を代表する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときはこれに代わる。

3 理事は理事会を組織して、会務を運営し、本会の重要な事項を審議する。

4 監事は会務及び会計を監査する。

5 書記は、会長の命を受けて、庶務及び会計事務を処理する。

(役員任期)

第10条 役員任期は1年とし、再任を妨げない。

2 役員は、辞任又は任期満了の場合においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(会議)

第11条 会議は、総会及び理事会とし、会長が招集する。

2 会長は、毎年度初めに定例総会を、また理事の過半数の要求があったときは臨時総会を招集しなければならない。

3 会長は必要と認めるときは、臨時総会を招集することができる。

4 総会では次の事項を議決する。

(1) 役員選出

(2) 事業計画及び収支予算

(3) 事業報告及び収支決算の承認

(4) 会則の改廃

(5) その他本会の重要な事項

5 会議の議長は、会長とする。

6 会議の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

7 総会に欠席する会員は会長又は他の会員に、また、理事会に欠席する理事は会長又は他の理事に、それぞれ議決権を委任することができる。

(経費)

第12条 本会の経費は、会費、寄附金及びその他の収入をもって充てる。

2 本会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までの1年間とする。

(会費等)

第13条 正会員は、入学の際に、別表に定める会費を納めるものとする。

2 賛助会員は会費を納めないものとする。ただし、随時寄附をすることができる。

(その他)

第14条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、会長が理事会に諮って別に定めることができる。

別表

区 分	会 費 (1人当たりの額)
入学生	50,000円

附 則

1 この会則は平成17年4月5日から施行する。

2 平成17年度における会費の納期限は、第13条第1項の規定にかかわらず平成17年4月末までとする。

3 平成17年度以降の広島県立保健福祉大学への編入学生に係る会費の額は、第13条の規定にかかわらず、従前どおり3万円とする。

4 平成16年度に県立広島女子大学後援会の正会員(大学院生の保護者)で、かつ、17年度以降においても同大学院在学中の大学院生の保護者は、その大学院生が在学中にあっては本会正会員とする。

5 広島県立大学後援会、県立広島女子大学後援会及び広島県立保健福祉大学後援会の権利義務及び財産は本会が継承し、その所属のキャンパスの事業会計に充当するものとする。

附 則

この会則は平成19年6月28日から施行する。

## 県立広島大学後援会会則施行細則

(趣旨)

第1条 県立広島大学後援会会則第14条の規定により、この会の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事務の委任)

第2条 本会の会費その他の徴収、保管及び経費の支出並びに寄附の受入に関する事務は、学長に委任する。

(企画調整会議)

第3条 本会の事業を円滑かつ効果的に実施するため、広島キャンパス、庄原キャンパス及び三原キャンパスごとに企画調整会議を置く。

2 各キャンパスの企画調整会議の構成員は、会長が役員の中から指名する。

3 各キャンパスの企画調整会議に、座長を置き、その会議の構成員が互選により選出する。

4 座長は、会議を招集し、その会議の議長となる。

(会計)

第4条 本会の会計については、キャンパス別に区分して経理する。

(費目の流用)

第5条 学長が経費の支出について費目の流用を必要とするときは、会長の承認を受けるものとする。ただし、予め承認を経たものは、この限りではない。

(会費の返還)

第6条 本学学生の退学等に伴い中途退会する会員には、会費のうち翌年度以降分を年割額に換算して返還するものとする。

(書類及び帳簿の備付け等)

第7条 本会の事務所に、次の書類及び帳簿を備えなければならない。ただし、各キャンパスで収入又は支出するものにあつては、そのキャンパスにおいて経理し、証拠書類等を備えるものとする。

(1) 本会会則及び会則施行細則

(2) 役員及び書記の名簿

(3) 収入支出に関する帳簿及び証拠書類(事業計画書、予算書、事業報告書、決算書、金銭出納簿、支出原簿等)

(4) 総会及び理事会の議事に関する書類

(5) その他必要な書類及び帳簿

2 書記は、前項の書類及び帳簿を整理、保管するものとする。

(記念品料等)

第8条 本学学生又は教職員死亡した場合には、弔詞及び弔慰金を贈ることができる。

第9条 本会役員又は本学教職員で特に功労のあった者に対しては表彰することができる。

附 則

この細則は、平成17年4月5日から施行する。

附 則

この細則は平成19年6月28日から施行する。